

平成21年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

1 調査の概要

(1) 目的

- ①全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童・生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図り、併せて児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげる。

(2) 実施時期

平成21年4月21日（火）

(3) 調査の対象学年

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年、
中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(4) 調査内容

①教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A、算数・数学A〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B、算数・数学B〕
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・理解 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な問題解決のための構想を立て実践し、評価改善する力などにかかわる内容 等

②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童・生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

2 調査結果について

【平均正答率：％】

教科名	小学校第6学年			中学校第3学年		
	武蔵野市	東京都(公立)	全国(公立)	武蔵野市	東京都(公立)	全国(公立)
国語A	77.4	71.6	69.9	80.3	77.0	77.0
国語B	61.1	53.6	50.5	77.1	73.8	74.5
算数・数学A	84.4	79.7	78.7	70.4	62.6	62.7
算数・数学B	64.5	58.7	54.8	64.4	56.8	56.9

武蔵野市の平均正答率は、小学校6学年と中学校3学年のいずれも、各教科のA「知識」B「活用」問題ともに、全国及び東京都の平均を上回っています。特に、小6と中3の国語A、小6の算数A、中3の国語Bについては、平均正答率が75%を上回っており、相当数の児童・生徒が今回出題している学習内容を概ね理解していると考えられます。

一方、19年度調査から全国的に指摘されていることですが、A問題とB問題の平均正答率の差が大きいことから、知識・技能を活用する力に課題があるとされております。本市においては、各教科のB「活用」問題の平均正答率が60%を上回っており概ね良好な結果となっているものの、小6の国語B・算数Bについては、「知識」に関する問題Aの平均正答率を16～20ポイント下回っており、児童・生徒が知識・技能を「活用」する力をさらに伸ばす指導を工夫していく必要があると考えております。